

シンポジウム開催要綱

「重い障害があってもみんなと一緒に

地域で暮らす方策を考えるシンポジウム」

(どうして暮らしぶらいの?)

- 1、 日 時 平成 20 年 7 月 12 日 (土) 午後 1 時 ~ 午後 4 時
- 2、 場 所 大崎市三本木総合支所 (三本木庁舎) ふれあいホール
(大崎市三本木字大豆坂 24 番地 3 Tel 0229-52-2111))
- 3、 主 催 大崎重症心身障害児 (者) を守る会
- 4、 共 催 栗原重症心身障害児 (者) を守る会
- 5、 後 援 大崎市・(社福)大崎市社会福祉協議会・大崎市手をつなぐ育成会
河北新報社・宮城県重症心身障害児(者)を守る会
- 6、 次 第

13:00	開 会 司会 佐々木浩幸氏
	主催者挨拶 大崎重症心身障害児 (者) を守る会 会長 大友祥子
	ご来賓挨拶
	ご来賓紹介
13:20~14:20	基調講演 テーマ「こどもという存在」 講 師 堺 武 男 様 (前宮城県立こども病院副院長)
14:20~14:35	(休 憩)
14:35~14:55	講 話 「宮城県での障害児の医療について現状と課題」 宮城県立拓桃医療療育センター 地域家族支援部 小児科主任医長 田 中 総 一 郎 様 「大崎地域での障害児の医療と課題」 大崎市民病院 小児科医長 工 藤 充 哉 様
14:45~15:00	(休 憩)
15:00~	パネルディスカッション 「子どもの生活の現状と課題」 パネラー 守る会会員 戸塚裕子・板橋由美・佐々木聖美・千葉陽子 アドバイザー 堺武男様 田中総一郎様 工藤充哉様 大友祥子 コーディネーター 河北新報編集局生活文化部長 寺島英弥様
15:50~15:55	まとめ
16:00	お 礼 宮城県重症心身障害児 (者) を守る会 会長 秋元俊通様 閉会挨拶 栗原重症心身障害児 (者) を守る会 会長 曾根紀元様 連 絡

